

千葉中央での思い出

青山 比南

私は六才から小学四年生までずっとゴルフを習っていました。みんなと一緒に何かをやるより一人の勝負の方が楽しいと思っていたし、自分に向いていると考えていたからです。でも、初めて体験に行った時、みんなが声をかけてくれたり、やさしく教えてくれたりと何度か練習に参加しているうちにみんなで作る楽しさを感じ、仲間で声をかけ合うチームプレーの良さを知り、中央に入りたいと思いそれまでやっていたゴルフを辞めて入部しました。最初は体力も無くきつかったり、自分だけ下手くそで迷惑をかけているのではないかと、自分は上手くならないのではないかと考え辞めたいと思った時もありました。けれどみんなでバレーをしているととても楽しく、そんな気持ちもふっ飛びました。

遠くの小学校へ通いながら、毎日休みなく練習がある中央でのバレーと勉強の両立は本当に大変でした。毎日寝るのは夜中、親からは

「辛いなら辞めてもいいよ。」

と言われその度に、自分から入りたい、勉強と両立させると心に誓った事を思い出し頑張りました。

中央に入って一年経ちついにこの日卒部する時がきてしまいました。この一年でバレーはもちろん仲間が大好きになりました。毎日一緒に練習する中で私自身も多少技術が身につき、みんなで試合を勝ち取る素晴らしさを知りました。思い通りできず流す悔し涙、一本点を取ってあふれる笑顔、色々な仲間の顔を私はコートの外から見てきました。早くコートの中に入って試合が出来るようになりたい、早く上手になりたい。何度も気持ちが焦りました。ささいな事で言い合いになった事や、ちょっとした事でおもいきり笑った事、いろいろとあったけれど私にとって全てが思い出です。

バレーを通して私は成長する事が出来たと感じています。あっという間でしたが、高橋監督、山川コーチ、私をここまで育ててくれてありがとうございました。覚えの悪い私に諦めずに教えてくれた事、忘れず中央で学んだ事を生かし、どんな事にもくじけず常に上を目指して日々努力して頑張ります。

くやし涙、うれし涙、コートの中で流せるように絶対になります。